

令和7年（2025）2月28日 No.11

教育長だより

生駒市教育委員会事務局
生駒市東新町8番38号
0743-74-1111(代)
文責 原井葉子

地域学校協働活動の推進に向けて

2月20日、北コミにて「生駒市コミュニティ・スクール連絡協議会」を開催しました。前半は、上中学校、桜ヶ丘小学校、大瀬中学校から、地域学校協働活動で学校・地域の特性、強味を生かして、不登校や放課後の子どもの居場所づくり、防災教育などの課題に取り組まれている様子や子どもの成長が報告されました。

後半は校区が入り混じったグループで、持続可能な組織づくりや子どもたちの実態等について、熱心に意見交換が行なわれました。



最後に、各班の発表では、「活動で、主役の子どもたちをどう育てるか、何を育てるかが大事」、「子どもの声を聞き、子どもの姿を見て何ができるかを考えたい」、「若い世代やいろいろな世代に活動に参加してもらうために、楽しい姿を見せること、情報を発信すること、小さなことでできることを積み重ねていくことが大切」など、前向きで具体的な提案がたくさん出され、終了後のアンケートにも、「各地域の取組や共通の課題を共有できて勉強になった」、「この協議会で得たアイデアや考えを参考に今後の組織運営に役立てていきたい」など多くの感想や意見をいただきました。地域学校協働活動に関わってくださっている皆さんが子どもや地域への思いをもって進めてくださっていることに感謝するとともに、学校、地域、行政が今後一層連携して取り組みを進めていかなければならないと思いました。今回の協議会が、地域の活性化や地域の教育力の向上につながることを願っています。

トレジャーハンター！生駒の宝をさがし出そう

生駒北小、俵口小、生駒南第二小の3つの小学校の3年生がチームになって、生駒駅周辺のお店や市役所など15カ所に分かれて、そこで働く人に、「生駒の宝とは？」についてインタビューを行う活動をしました。

チームの一つは、市役所の2階にある教育長室に来てくれました。「生駒の宝は何ですか？」、「どうして教育長になったのですか？」、「ぼくたちに聞きたいことはありませんか？」と、メモを取りながらしっかりとインタビューして、わたしが「この勉強のどこが楽しいですか？」と尋ねると、「他の学校の人と一緒にできること」「知らないことが知れること」と即答してくれました。すばらしい！



戻る時間が決まっているので時計を見て「45分には出よう」と確かめ合うなど、自分たちで考えて困ったときには相談しながら活動している子どもたちでした。

たけまるホールに戻って「冒険」の報告をするためのスライドを作成し、みんなの前で発表しました。どのチームも自分たちで写した写真を入れて、インタビューで聞いたことや思ったことを一生懸命伝えてくれました。



違う学校の子同士とは思えないくらいチームで協力し活動する姿に、子どもの力、可能性の大きさを感じ、「生駒の宝は子どもたち」だと改めて思いました。

このように、子どもたちが街に出かけて様々な人と出会い、知らなかったことを知る「冒険」の機会がたくさんできれば良いなと思っています。

「第33回生駒市総合教育会議」を開催

2月25日に、第33回生駒市総合教育会議を開催し、①「生駒南小学校・生駒南中学校施設一体型整備事業基本計画の策定」と、②「学校体育施設開放事業の見直し」について協議を行いました。①では、義務教育学校について、9年間を通して子どもをそだてることの教育的効果、義務教育学校だからこそできることの可能性、人間関係の固定化や進学との区切りがないことの課題をどのように解消していくか、などについて意見が出されました。

②では、これまでと何がどのように変わるのか、平日の放課後の子どもたちの過ごし方や、体育施設を使用する種別や対象者、予約の仕方など検討が必要であること、部活動の地域クラブ移行も見据えていくことなど、今後の進め方に対する意見が出されました。

今回の総合教育会議の協議をふまえて、それぞれの事業を進めてまいります。

◎ 総合教育会議の資料はこちらに掲載しています <https://www.city.ikoma.lg.jp/0000037415.html>